

アンドロイド観音『マインダー』

(あんどろいどかんのん まいんだー)

◆アンドロイド観音「マインダー」概要

お釈迦様が亡くなられ、弟子や信者によって教えが少しずつ伝わり始めました。しばらくの間、お釈迦様あるいは仏様が、描かれるという事はなかったが、そのうち、ストゥーパ（お墓）や仏教関連施設が建ち、その周りにレリーフが施され、その中に仏様の姿も描かれるようになりました。

そのレリーフの仏様が、ポンと抜け出たのが仏像であり、以来いろいろな仏像が作られ、進化してまいりました。お釈迦様が亡くなられて五百年経った頃だと思われます。

それまで、教えだけで伝えられていた仏教が、仏像ができて以来もっとわかりやすくなり、広がりを持つようになり、また教えを伝えるだけでなく、病気治癒、極楽浄土、国家安穩、悪魔退散守護、人生安樂などの願い事の対象となった為に爆発的に仏教が広がったと考えられます。

それから二千年仏像には、それほど根本的な進化はありませんでしたが、今、私たちは新しい仏像を創ろうと考えました。動き語りかける仏像です。

観音様は私たちを救い助ける仏様で、願い事を唱えれば願い事を聞き届けてくれる慈悲の仏様であります。いろいろな姿に変身される仏様であり、私たちは、現代の仏様としてアンドロイドに変身していただくと考えました。アンドロイド観音「マインダー」です。

このアンドロイド観音から、教えを伝えてほしいと考えています。教えていただく内容は、お釈迦様が苦勞された生老病死の苦惱からの脱却であります。また、現代の人々は多くの悩みを持っており、人々に安心（心の安らぎ）を与えていただくと考えました。

本制作委員会には多くの専門家が集まり、最高の仏様にお出ましいただいたと考えています。仏像が作られて二千年経ち、初めて動き語りかける仏像ができたのです。語りかけられる法話は、私たち現代人にもわかりやすく説いた般若心経の心です。

さらにわかりやすくするために、マッピングの映像を施し、コンピュータで観音様と映像を制御しました。日本語で話し、英語と中国語（字幕）で対応しています。

世界中の多くの人々の心が安らぎ仏教の心を伝えられることを願って制作した観音様です。

■設置環境	教化ホール床面積	85 m ² (約 26 坪)
	使用機材	プロジェクター単焦点 4500 ルーメン 2 台(天井) プロジェクター単焦点 3300 ルーメン 8 台(四方壁面)
	再生環境	映像素材サイズ:4K マルチディスプレイ
	音響効果	5ch 出力(天井 4ch 観音 1ch)

■マインダー概要	法話時間	約 2 5 分
	御身体	H (高さ) : 1950mm、W (幅) : 900mm、D (奥行) : 900mm
		本体 : アルミニウム、他
		頭部及び両手部 : シリコン (エーラボオリジナル)
		駆動 : 空気圧駆動